

# 市民参加型まちづくり 1%システムについて

① 制度概要

② 申請書類作成のポイント

③ 採択事業の紹介

# ① 制度概要

## ●平成23年6月より実施

○個人市民税の1%相当額を財源

【平成27年度予算：3,000万円】

○市民自らが実践する

まちづくり活動・地域づくり活動

支援

公募型の補助金制度

# 制度概要

市民のみなさんの活動のきっかけづくりや  
活動内容の充実・発展のために



魅力あるあずましい弘前へ

## 【応募できる団体】

次の要件を全て満たしている団体

- ① 構成員が5人以上であること。
- ② 主に市内を活動拠点としていること。
- ③ 組織の運営に関する規則（規約・会則等）を有していること。
- ④ 継続的かつ計画的に事業を行うことが可能であること。

※ 既存の団体のほか、新たに組織する団体も対象

# 制度概要

## 【補助の対象となる事業】

地域の課題解決や活性化を目的に実施する  
公益性のある事業で、次の要件を全て満たし  
ている事業

- ① 原則として市内で実施される事業
- ② 継続可能な事業
- ③ 住民又は構成員の労力提供等がある事業
- ④ 補助金の交付決定があった年度内に完了  
する事業

# 制度概要

## 【対象外事業】

次のいずれかに該当する事業は、**対象外**

- ① **営利**を目的とする事業
- ② 特定の**個人**や**団体**が**利益**を受ける事業
- ③ **政治**、**宗教**又は**選挙活動**を目的とする事業
- ④ **市**の他の**補助金**の交付を受け、又は受ける見込みである事業
- ⑤ **国・県**及びその他の**機関**から**補助金**を受け、又は受ける見込みである事業
- ⑥ **市**との**共催**の事業
- ⑦ **法令**、**条例**等に**違反**する事業
- ⑧ その他**公序良俗**に**反**する事業



# 制度概要

## 【補助の対象となる経費】

対象事業を実施するために直接必要な経費で、次に定める項目

項目	対象となる経費
講師等謝礼	外部講師や専門的技術を有する協力者への謝礼等
交通費	講師等への交通費・宿泊費
消耗品費及び原材料費	事業実施に直接必要な消耗品費・原材料費
食糧費	事業実施に直接必要な食糧費（実施日当日分のみ） ※ 支給要件及び上限額あり
燃料費	作業等に必要な機材、車両等の燃料費
印刷製本費	ポスター・チラシ、資料等の印刷代・コピー代等
通信運搬費	事業実施の周知・連絡等に要する郵便料等
保険料	事業実施に係る参加者等の保険料
使用料及び賃借料	事業に要する会場使用料、車両・機械等の借上料
その他	審査委員会の意見を聴いて市長が適当と認めたもの

# 制度概要

## 【主な対象外経費】

- ① 団体の維持及び運営に係る経費
  - ② 団体構成員に対する人件費及び謝礼
  - ③ イベント・大会等の参加者に対する記念品・参加賞の経費
  - ④ 懇談会や慰労会等の飲食代
- ※ 領収書がないなど使途が不明なものは対象外

## 【補助金の額】

次のいずれか少ない額とし、原則50万円を上限（千円未満の端数切捨て）

- ① 補助対象経費の90%以内の額
- ② 事業の支出総額から収入（参加費、協賛金等）を除いた額

# 制度概要

## 【事業の募集期間・実施期間】

事業募集は、1年度3回/28年度は次のとおり

①事業実施期間：平成28年4月1日～平成29年3月31日

1次募集期間：平成28年1月4日～2月10日

②事業実施期間：平成28年7月1日～平成29年3月31日

2次募集期間：平成28年4月4日～5月6日

③事業実施期間：平成28年10月1日～平成29年3月31日

3次募集期間：平成28年7月4日～8月5日



各募集期間の前に事前相談期間を設けていますので、  
ご活用ください！

# ② 申請書類作成の ポイント

# 申請書類作成のポイント

【応募から事業完了までの流れ】

1

事業採択

1

(事前相談)

事業申請書の提出

(書類修正等)

2

1%システム審査委員会

事前質問  
・回答等

公開プレゼン

公開審査会

審査結果通知  
(採択・不採択)

2

補助金交付

3

補助金の交付申請

交付決定

4

事業実施

補助金概算払請求

補助金概算払

交付決定額80%以内

5

実績報告書の提出

補助金交付額確定

6

補助金の請求

精算



# 申請書類作成のポイント

## 【審査項目】

公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない
	② 社会公共的なまちづくりや地域づくりのためのものになっている
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえ対応している
	④ 地域の状況や市民ニーズに即した対応をしている
実現性	⑤ 事業の計画が具体的で、実施手段や体制などが合理的である
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性（継続事業については発展性）が期待できる
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる
費用の妥当性	⑨ 予算が具体的で、事業の内容・規模に合った予算になっている
	⑩ 市民の貴重な税金を使うことによる効果が認められる





# 申請書類作成のポイント

○今回申請する事業についてお書きください。

<事業企画書>

この事業を始めることになったきっかけや、事業実施の目的は何ですか。 <b>【審査の視点：必要性】</b>	(きっかけ)  (目的)
この事業は、どのような人のために、どのような内容・方法で実施しますか。 <b>【審査の視点：公益性、実現性】</b>	(対象となる人)  (内容・方法)

「審査の視点」を意識して、  
きっかけ⇒目的⇒対象となる人⇒内容・方法  
の流れがわかるように記入するのがポイントです。  
※目的を達成するために、この対象者や方法に矛盾がないかチェックしてください！

※継続申請の場合、記入してください。  
(新たな内容や改善点など、前回との違い)

# 申請書類作成のポイント

## <事業企画書>

○実施スケジュールについてお書きください。【審査の視点：実現性】  
 (準備作業から事業終了後の報告まで、できるだけ具体的にお願いします。)

日程 (月日)	実施内容	場所	時間	参加者数等
●●月●●日	打ち合わせ			
▲月▲日	●●開催 ○時～ ▲▲▲ ○時～ ○○○			○○○人
●月▲▲日	支払完了			

○申請する事業の実施効果についてお書きください。【審査の視点：公益性】

この事業を実施することによって、市民や地域に対してどのような効果が期待できますか。

- 効果が限定的なものになっていませんか？
- 目的と合っていますか？

# 申請書類作成のポイント

○来年度以降の事業の展開についてお書きください。【審査の視点：将来性】

## <事業企画書>

来年度以降のこの事業を、どのように継続・展開させていく予定ですか。

- ・「自立」して事業を行っていくために、資金や経費のかけ方の工夫など
- ・事業の展開していく方向性など

○来年度以降の財源についてお書きください。

来年度以降も、補助金申請を要望しますか。

( 要望する ・ 要望しない )



いつまでをお考えですか。平成( ●● )年まで

※当補助金は単年度申込みの補助制度ですので、今年度採択された場合でも来年度の申請が必要です。

現時点でのお考えを記入してください。  
※必ずこの年まで申請しなければならないということではありません。

○他の補助制度の活用についてお書きください。

今回申請した事業について、ほかに活用する補助制度はありますか。

無 ・ 有 (補助制度の名称： )

○保険についてお書きください。

事業を実施する際、保険へ加入する予定ですか。

加入しない ・ 加入する (保険の名称： )

整備事業・祭りなどのイベント開催の事業は保険に加入してください。

# 申請書類作成のポイント

## 3 支出内訳書

(NO.1)  
(単位：円)

項目	品名	数量	単価	金額	採択金額	摘要
講師等謝礼						
交通費						
消耗品費及び 原材料費						
食糧費						
燃料費						
印刷製本費						
通信運搬費						
保険料						
使用料及び 賃借料						

## <収支予算書>

①具体的に必要な経費を、  
「3 支出内訳書」に記入する。

なるべく  
単位まで記入

講師を招く日付や、購入・賃借した  
ものの用途などを記入してください。  
対象外経費には「対象外経費」と明記  
してください。



★具体的な予算組みになっている？  
➡事業を実施するときのことを  
しっかり思い描いて事業実施に  
直接必要な経費を計上してください。

★1品目 5万円以上のものは  
見積もり書も添付してください。

# 申請書類作成のポイント

収支予算書 【審査の視点：費用の妥当性】

## <収支予算書>

1 収入 (単位：円)

区分	金額	採択金額	摘要	昨年度の 交付確定額
市民参加型まちづくり1%システム 支援補助金				
参加費	●●●●	/	●●●●円×▲▲人	/
協賛金		/		/
団体会費		/		/
		/		/
収入合計	▲▲▲▲▲▲	/	※支出の合計と同額	/

- ②各区分の合計額を算出
- ③支出合計を算出
- ④摘要欄に補助対象額を記入
- ⑤支出合計を記入し、同じ額を  
収入合計にも記入

2 支出 (単位：円)

区分	金額	採択金額	摘要	昨年度の 交付確定額
講師等謝礼				
交通費				
印刷製本費				
通信運搬費				
保険料				
使用料及び賃借料				
その他経費				
支出合計	▲▲▲▲▲▲			

支出内訳書の各区分の  
合計額を記入します。

対象外経費があれば、その額  
を記入します。

# 申請書類作成のポイント

支出合計				
------	--	--	--	--

※継続申請の場合は、昨年度の交付確定額を記入してください。

## <収支予算書>

⑥補助金額を算定

⑦団体会費を記入

補助金の額の算定根拠	① (補助対象経費) × (補助率0.9) ≒ (補助金額) ※千円未満の端数切捨て (支出合計 - 対象外経費) × 0.9 ≒ ●●●●●●●●円
	② (支出総額) - (参加費・協賛金等の収入) ≒ (補助金額) ※千円未満の端数切捨て 支出合計 - (参加費や協賛金の合計) ≒ ▲▲▲▲▲▲▲▲円
	① ②のいずれか少ない額 (補助金申請額) ○○○○○○円 (原則50万円を限度)

※収入がない場合は記入不要

①と②のうち、少ない額が申請額です。

算定額を「補助金」の欄に記入。

様式第3号 (第6条第1項関係)

### 収支予算書

【審査の視点：費用の妥当性】

1 収入		(単位：円)		
区分	金額	収入金額	摘要	昨年度の交付確定額
市民参加型まちづくり1%システム 支援補助金	●●●●●●●●			
参加費				
協賛金				
団体会費	▲▲▲▲▲▲			
収入合計	▲▲▲▲▲▲		※支出の合計と同額	

収入合計から、補助金（ある場合は、参加費や協賛金などの収入）を引いた額が、団体会費（＝団体の負担額）です。

# 申請書類作成のポイント

## 【公開プレゼンテーション・公開審査会】

- プレゼンテーション＝7分
- 質疑応答＝8分
- 公開審査＝20分

※プレゼン省略＝事務局説明・公開審査で15分

## プレゼン・公開審査はコミュニケーションの場

- ① 書類に書かれていないけれど伝えたいことを話す
- ② 事業の要点を話す

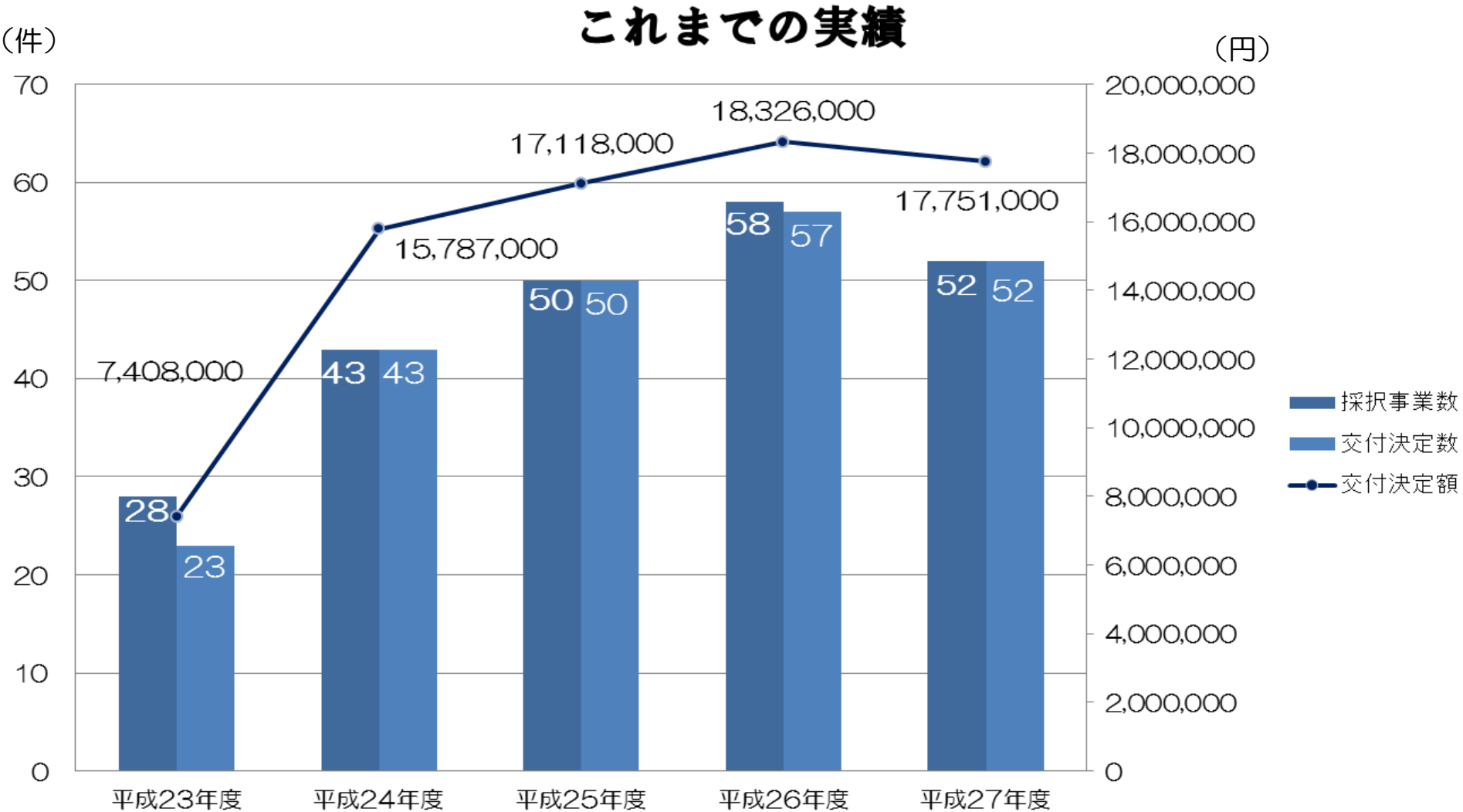
➡ 自分たちがやりたいことを知ってもらおう

# **③ 採択事業の紹介**

---



# 採択事業の紹介



# 採択事業の紹介

## 【採択事業の紹介①】

事業名 放棄地の環境整備と美化（史跡里山環境美化）活動

／乳井町おこし協力会

事業目的 自然と史跡を生かした里山の復活

事業概要 乳井町会内の史跡である茶臼館、ホタルが集まるため池の沿道整備、ホタルの鑑賞会等の実施

実施方法 こども会や消防団、老人クラブ等の参加を得ながら実施

事業効果 地域への愛着心

➤ 次世代へ繋がる活動

➤ 地域力の向上



# 採択事業の紹介

## 【採択事業の紹介②】

事業名 大仏公園紫陽花まつり／石川町会

事業目的 大仏公園の紫陽花まつりを広く発信

事業概要 石川町会内にある大仏公園で、7月に行っている紫陽花まつりを周知し、特別イベントで紙ひこうき大会やジャズコンサートを実施

実施方法 町会役員を中心に公園内の見回りを行い、安全面に配慮しながら、クイズや俳句・短歌の募集などを実施

事業効果 地域交流の活発化  
弘南電鉄の利活用



# 採択事業の紹介

## 【採択事業の紹介③】

事業名 南城西町会加入と活動参加促進のためパンフレット  
「みなみな南城西っ！！」製作事業／南城西町会

事業目的 老若男女、誰でも町会活動に参加しやすい空気の醸成

事業概要 楽しく読みやすいパンフレットを作成し、PR

実施方法 町会有志のWGで取材し、原稿作成

事業効果 加入世帯の増加

- 町会活動の活性化
- まちづくり、防災意識や連帯感の向上



# 採択事業の紹介

## 【採択事業の紹介④】

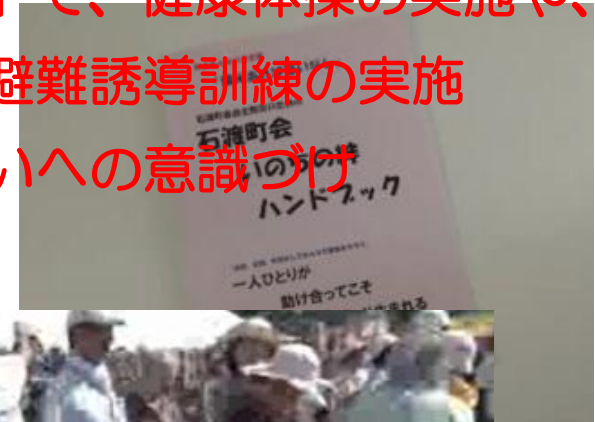
事業名 石渡町会ふれあいの集いと自主防災訓練／石渡町会

事業目的 健康に対する意識と防災意識の向上

事業概要 健康体操、防災冊子作成

実施方法 毎年行われている「ふれあいの集い」で、健康体操の実施や、作成した冊子をもとに防災の講話・避難誘導訓練の実施

事業効果 防災意識の向上、隣近所との助け合いへの意識づけ



# 採択事業の紹介

## 【採択事業の紹介⑤】

事業名 過疎地域スポーツ推進事業「スポーツゲンキッズ教室」

／特定非営利活動法人 スポネット弘前

事業目的 スポーツに親しむこと、スポーツを通してのコミュニケーション能力の向上

事業概要 運動をする環境が整っていない地域の子どもたちのために、スポーツ教室を行う。

実施方法 その地域に出向いて、定期的にさまざまなスポーツ教室を開催する。



# 採択事業の紹介

## 【採択事業の紹介⑥】

事業名 弘前城リレーマラソン

／特定非営利活動法人 スポネット弘前

事業目的 健康増進、多世代交流の促進、地域の活性化等

事業概要 チームがタスキリレーで、42.195kmの完走を目指す  
リレーマラソンを実施

実施方法 参加対象は、子どもから高齢者まで幅広くし、運営は、他  
団体との連携を図るとともに、ボランティアを募集

事業効果 弘前公園の有効活用・健康づくりへの意識向上



# 採択事業の紹介

## 【採択事業の紹介⑦】

事業名 弘前市民の森で元気になろう／弘前市民の森の会

事業目的 健康と生きがいづくり、多世代交流の促進

事業概要 自然環境に恵まれている「市民の森」で、森林療法や園芸療法  
療法の体験等や健康相談を兼ねたセミナー等を実施

実施方法 チラシやポスター広報等で広く参加者を募集し、ボランティアとして参加している学生と高齢者との世代間交流を図る

事業効果 高齢者の生きがいづくり・健康増進





# 採択事業の紹介

## 【採択事業の紹介⑧】

事業名 ふくろうと共存するりんご生産における農業の新展開  
／ふくろうの会

- 事業目的 りんご農園にふくろうの棲める環境をつくる
- 事業概要 ねずみの天敵であるふくろうは、りんご農家にとって有益な鳥であるため、巣箱をりんごの木に設置し、ふくろうが増えやすい環境を整備
- 実施方法 弘前大学の協力のもと、巣箱を設置し調査を行う。
- 事業効果 ふくろうの生育が確認



野ネズミ対策 巣箱設置

野ネズミの被害は、りんご農家の大きな悩みの種。野ネズミは、りんごの樹皮を食む被害に悩む弘前市のりんご農家有志が、食害抑止策の一環としてフクロウの巣箱を園地に設置した。13羽のひなが育つことが21日までに確認された。設置を指導した弘前大学農学生命科学部の東信行准教授によれば、天敵のフクロウが園地に住み着くと野ネズミの個体数が減るのほかに、農家たちは巣箱を増やしてフクロウを繁殖させ、食害抑止につながるとしている。

### フクロウでネズミ退治

## ひな13羽すくすく

弘大准教授指導で園地に巣箱

野ネズミがリンゴの樹皮を食む被害に悩む弘前市のりんご農家有志が、食害抑止策の一環としてフクロウの巣箱を園地に設置した。13羽のひなが育つことが21日までに確認された。設置を指導した弘前大学農学生命科学部の東信行准教授によれば、天敵のフクロウが園地に住み着くと野ネズミの個体数が減るのほかに、農家たちは巣箱を増やしてフクロウを繁殖させ、食害抑止につながるとしている。

市は管内での具体的な野ネズミ被害は明らかでないとしているが、県の統計では被害年が増える傾向があり、2012年度は約47枚の被害が出ている。年々被害が深刻さを増していることから、同市下湯口の農家石岡豊さん(77)が昨年春、近隣農家に呼び掛



リンゴの樹上に設置した巣箱から顔をのぞかせるフクロウのひな

21日、弘前市一野渡地区の園地



33





いつでも  
ご相談ください！

弘前市 市民文化スポーツ部 市民協働政策課 市民協働係

◀お問い合わせ先▶

〒036-8551 弘前市大字上白銀町1-1 市役所新館2階

電話 0172-40-7108 FAX 0172-35-7956

Eメール [shiminkyoudou@city.hirosaki.lg.jp](mailto:shiminkyoudou@city.hirosaki.lg.jp)

